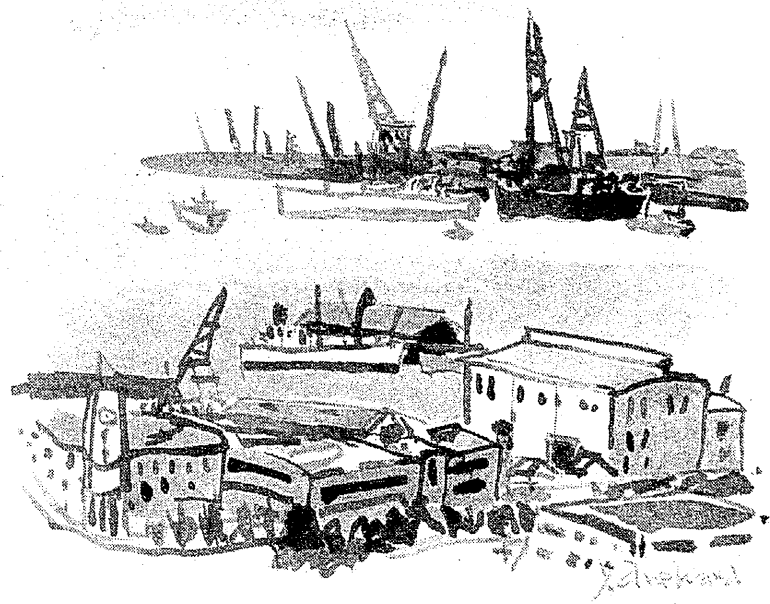


海と船と港



神戸港

画 姉川良男

歴史の古い神戸港。開港当時の中心だったメリケン波止場は現在ではランチの発着所になり、ポートターミナルには外国航路の大型観光船、中突堤には内海航路が発着する。ポートタワーからは港内の様子が一望できる。



「水櫃を買おう」といきました。まだ小さく、とてもかわいい私もそう思ったほうがいいと思いましたが、学校から帰った息子が合わせて二十四円でした。急なことで入れ物がなく、大きめのバスケットに入れてみました。五日が過ぎ、浮かんてくる感じがして、

姿見

荒尾ブロッコ 平野静子

すっかり秋らしくなってきました。今度の「姿見」は三小校区で「ついで」連絡をとり、一瞬とまどいました。普段あまりペンを持たない私に、みなさんが書いたものを読んで感心しているのがせいぜいですが、何をどうか悩んでいます。

二カ月半前のことです。下の息子が卓球の試合で長洲の海洋センターに行った時に金魚をもらいました。その間、息子はせっせと水を替え、エサをやり懸命に世話をしていました。それを見て、主人も私も、このままでは金魚が死んでしまうので、どうしようかと相談して、主人がこれまでに買ったものだと感心

解散集会で思い出刻む

たたかひの拠点、貯炭場に

九月二十一日正午から、諏訪川尻校区地域分会が主催して「新港社宅解散集会」が開かれました。雨続きの天候でしたが、分会員や主婦会員、さらにかつての分会員などおよそ七十人が参加、集会を始める頃には雨もあがり、闘争本部いっばいの熱気の中で集会が始まりました。

集会では沖分会長が、「最盛期を思い起こすと胸がつかまるが、新港分会は数多く団結力も強かった。三池闘争はもちろんその後も社宅合理化など、新港社宅の歴史はたまたかの歴史だった。社宅はなくなるが、それぞれの場をたたかひをあげよう」とあいさつ。ついで組合を代表して松岡厚生部長が挨拶経過などを話してあいさつしました。さらに大牟田・荒尾と論議を代表して山田さん、大牟田市議の島さん、元居住者の谷端さんらが、思い出を話さみながら

あいつ。途中分会旗を焼き、乾杯のあと手作りの昼食を囲んでスビーチがつつき、久しぶりに会った仲間あいだでおしゃべりまで懇談がつづきました。

新港社宅は、三川鉄の開鉱とともに昭和十四年に造成され、昭和六十一年に第四次と全戸が合理化社宅に指定され、営繕工事もされな



解散集会での分会長あいさつ

思い出の分会旗を焼く

いま荒廃の度を深めていきました。この間に、関連会社への転用のための百八棟強制移転(47年)に始まり、厚生理髪店移転、三川浴場廃止、グラウンドの転用(56年)、三池商事売店廃止、空戸の一部解体(59年)、金比羅宮解体(60年)、関連会社への転用、空戸解体(61年)とつづきました。今回の全面撤去によって、需要も減少しましたが、四十五年には第一次合理化社宅に指定され、五十年に第二次、五十七年に第三次となり、六十一年に第四次と全戸が合理化社宅に指定され、石炭情勢とともに撤去が早められました。

10月のこよみ

○：神無月(かんづき)。一日芸術祭(11月15日まで)。『芸術の創造と進展に寄与し、国民文化の向上をはかる』ために文化庁が実施しますが、音楽家、芸能人の助成金増額などの声にも耳を傾けてほしいものであります。10日体育の日。15日新聞週間(21日)。社会の公器として新聞の役割は大きい

だけに、常に国民に視点を当てた報道が望まれています。17日貯蓄の日。マル優廃止で虎の子の貯蓄にまで課税攻勢がかかられようとしており、気の許せない昨今です。27日読書週間(11月9日)。読書は創造力を生みだす源泉です。

○：秋刀魚(さんま)は秋を代表する魚です。名のように刀に似て細身で、秋は脂肪が多く味もよ、塩焼きにして大根おろしで食べると美味です。関西ではさいらと呼びます。「秋刀



パソコン・ライフ入門(中)

ネクラ脱して 人間のネットワークへ

パソコンいじりもいよいよ、センターのパソコン講座を受講する向きがある。個室にこもって黙々とキーをたたかき、確かにその見える。しかし、実際にパソコンを置くと、人間は孤独にすくすものなにかどうか。機器やソフトを扱うとマニュアル(説明書)がついて来る。これが読んでもわからないシロモノだ。メーカーに電話でたずねても、係の問をタライ回しにされ、結局は「マニュアルを自分で下さい」といわれる。どうして身近な相談相手が必要。友人、知人でパソコンの経験者が居ればよい。居ない場合は新しいパソコン友達をつくることだ。近頃のパソコン店(大型量販店より専門店がいい)に入り、店主や店員と親しくなる。自治体や民間カルチャー

少年お金ほかかるが、必要な機器をそろえてパソコンを電話線につなぐと、海外も含めた遠隔地の仲間と文字や画像を通信しあうこともできる。いわゆるパソコン通信だ。スタンドアローン(一人ぼっち)から、ネットワーク(網)の目へ、パソコンの世界は広がっていく。



子供たちの世界にも急速に入りこみ、夢中になってパソコンを操作する。